

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

Rotary



第2780地区
大磯ロータリークラブ

ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度RI会長
ホルガー・クナーク

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県平塚市豊原町22-13 TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：第1・第3・第5 木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281
会長 新宅 文雄 会長エレクト 守屋 紀忠 幹事 大藤 勉

第2498回

例会

令和2年8月6日 No.4

■司会：布川 史明

■点鐘：新宅 文雄

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム・8月13日：休会 ・8月20日：通常例会、大藤勉さん ・8月27日：休会

◇出席報告

例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率
2496回	16(13)	8	61.54%	—	—
2494回	16(13)	10	76.92%	—	—

◇欠席者（5名）

原、太田、田中、石山、鈴木さん

◇メークアップ（0名）

◇会長報告

新宅文雄会長



君が代・奉仕の理想



◇出席報告

布川史明SAA



- #、皆様の手もとにある「クラブ委員会活動計画書」は事務局の手塚さんが、必死になって作成し、本日の例会にまにあわせてくれました。お陰様で吉野ガバナー補佐、ガバナー事務所へ発送でき、面目が立ちました。
- #、前回の直前会長幹事慰労の例会は、百瀬親睦委員長のプロデュースで楽しく有意義な夜間例会になりました。有難うございました。
- #、本日は広島に原爆が投下されて75周年となり、節目の年であります。

大磯町国際交流協会では、デイトン市姉妹都市協会からの「平和のベル」プロジェクトの情報を検討した結果、参加することに決しました。

このプロジェクトはカリフォルニア州で草の根国際交流に携わる人々の中から生まれました。写真家、アーティスト、コミュニティーリーダーとして活躍したリチャード・フクハラ氏もその一人で、原爆で亡くなった人々やアメリカ在住の「ヒバクシャ」のストーリーを語り継ぐことに力を注ぎ、原爆記念日に世界中でベルを75回鳴らすという夢を持っていたと言われていました。残念ながら、フクハラ氏はその実現を見る前に亡くなってしまいましたが、世界平和と世界中の人々の相互理解を目指した彼の夢は、このプロジェクトに継がれることになりました。

8月6日午前8時15分と8月9日午前11時02分の原爆が投下された時刻に「平和のベル」を75回鳴らすとするものです。

大磯町国際国流協会では、一ヶ所は高校生が企画してステパノ学園で、子どもたちや若い人たちが平和のベルを鳴らすこと、あと一ヶ所は中島源吾元姉妹都市協会会長の延台寺で、年配者が平和祈念の黙祷を捧げるというものです。私は8時15分の延台寺に参加して来ました。

アイゼンハワー米大統領の提唱により「友好親善、相互尊重、相互理解、文化の交流」を通じて平和を推進するという使命のもとに「国際姉妹都市」が設立されました。日本とアメリカの間には現在455の姉妹都市があり、アメリカの姉妹都市提携先として、日本は世界で最も多い国となっています。アメリカが初めて結んだ姉妹都市は、ミネソタ州セントポール市と長崎市だったそうです。

核兵器廃絶、世界平和は、8月のこの頃に、毎年耳にしますが、日本の周りには核兵器保有国があり、今後とも平和を維持することは容易な事ではないと思います。皆様と一緒にロータリーの目的である「平和」について、我々が出来る事を考え、行動していきたいと思います。

#、例会後理事会を行います。

#、先週九州の水害被災地に義援金を送るについてスマイルから16,000円支出する事にしましたが、それに百瀬さん、新宅からの寄付を加え、2万円を地区に送金しました。

◇幹事報告

大藤勉幹事

1. 地区ロータリー財団セミナー及び第1回補助金管理セミナーの案内

日 時：9月19日(土) 12:30～

場 所：ミナパーク6階(藤沢商工会議所)

対象者：会長、R財団委員長いずれか一名

2. ロータリー財団月間(11月)卓話依頼案内

注：理事会において、本年度は卓話依頼しない事に決定。

3. 会員増強・新クラブ結成推進月間リソースのご案内＝R I 日本事務局より

- ・入会候補者向け資料
- ・新会員向け資料
- ・クラブ向け資料
- ・映像資料
- ・会員増強関係R I のHP(日本語版)案内

4. 8月ロータリーレート：105円

◇委員会報告：

☆スマイルボックス

瀬戸亨一委員



・新宅文雄さん：瀬戸さん卓話よろしく、楽しみです。

・河本親秀さん：瀬戸さん卓話よろしくお願いします。

・布川史明さん：瀬戸さん卓話よろしくお願い致します。楽しみにしております。

・守屋紀忠さん：瀬戸さん卓話よろしくお願い致します。

・桜川誠さん：先週は慰労会有り難うございました。百瀬さんの演出・プレゼントも有り難うございました。瀬戸さん卓話よろしくお願いします。

☆守屋紀忠会長エレクト：今日配付の「クラブ委員会活動計画書」の14ページ



＝通常例会26回、特別例会4回計29回とあります。これは「ガバナー公式訪問」が通常例会日に含まれているためです。ご理解下さい

◇ 卓 話

C Wからのウガンダ現状報告と W E B 会議導入について

瀬戸亨一さん



ウガンダ現状報告：

コンフロントワールドの理事：荒井氏からウガンダトイレの完成の報告と近況を纏めた資料を送って頂きましたので、急な卓話担当を仰せつかりましたので、この時間を利用して頂きご報告致します。

トイレは10か所を作る事になっていましたが、写真は全数ある訳ではないのですが、工事は完成したとの事です。

ウガンダの近況としてはコロナ過がやはり深刻となっている様子が交通機関や各施設の利用状況等が解る一覧表が送られて来ています。

写真では石鹼を住民に配布したり、診療所でしょうか外にテントを設置している様子ですので日本と同じように体温の高い患者を隔離し、対応しているのかと想像できます。

コンフロントワールドはクラウドファンディングという支援金の受理システムを利用し「【新型コロナウイルス】ウガンダ農村部に石鹼と手洗いを届けたい」をテーマに募金活動をしておりましたので、瀬戸が個人的に支援を致しました。その支援へのお礼としてビデオレターを頂きましたので、後程ご紹介いたします。

ウガンダに訪問したのは約1年前の9月ですが、今でも強く印象に残っている事が多いです、今年の建築士会会報を見て、どこかで見た事ある写真だなーと思っていたら、なんと行ったばか

りの異国の地ウガンダを題材に毎号特集されてきました。私としてはこのタイミングが何かの結びつきなのか？と驚いている所です。記事の一部抜粋を纏めたものも作ってみました。

先程お話しした、「【新型コロナウイルス】ウガンダ農村部に石鹼と手洗いを届けたい」の支援のお礼メッセージを動画でご紹介いたします。ウガンダに同行したメンバー荒井氏、亀ヶ川氏、佐藤氏からのメッセージです。

ウガンダの報告は以上で終わらせて頂きます。

W E B 会議導入について：

WEB会議の担当として卓話の時間がもう少しあるのでご報告させて頂きます。

WEB会議活動報告書を作りました。7月30日にアンケート調査を配布いたしました、本日中に皆さんから頂けたらと思います。

原卓さんからWEB会議なら例会参加が可能だとアンケートを受け取りました。

河本さんと原さんのアンケートをスライドに映しでご報告いたします。

原さんはZOOMでのWEB会議は実施しているのでシステム導入済みとの事でした、

河本さんは意外ですがカメラ無しのパソコンとの事でソフト設定、カメラ付きパソコンの入手等を検討したいと書いてあります。

ここで他クラブでWEB会議を行っている様子を動画で配信しているものがございましたので、映し出したいと思います。

※このように試行錯誤をしながらドタバタと慌てた状態で始めているクラブがある事が解ります。当クラブもシステム導入済みの方から練習を始めたいと考えています。

この後、河本さんからWEB会議で例会を開催する目的の詳細や練習例会の予定等につ

いて一言お願いして、私からの卓話は終わらせて頂きます。

河本委員：

コロナ禍を起爆剤にオンライン会議システムの導入が急速に普及しました。これを機に大磯RCがWEB会議システムの導入に踏み切った事は時宜に適した事と大賛成です。

10年近く前に財団奨学生OBで結成された「かな

がわ湘南RC」にメーキャップした時、海外に在住している会員とPCで例会場と繋ぎ（インターネットソフトのスカイプを使用）、出席会員と話をしているのを見て、良いなと思った事でした。

注：RIは2010年にEクラブの設立導入を決定しています。2780地区では2015年3月に「かながわ2780ロータリーEクラブ」=2019年7月からアーカス湘南RCと改称=が設立されています。

大磯RCには事業上の都合、家庭的事情、個人的事情で長期に渡り例会に出席出来ない会員がおられるので、この方々をオンラインで例会に繋ぐ事が出来れば最高と思います。

将来はWEB会議システムを使つての例会や各種会合他クラブとの会合、姉妹クラブとの会合など夢は広がります。

出席者の皆さんからWEB会議の導入について意見を頂きました。積極的賛成、時代の流れであるので導入肯定、必要性は？、アナログタイプなので…。等多様なご意見でした。

我がクラブの基本はFace To Faceの会合である事は銘記したいと考えます。

クラブとして導入を決定しているので、**試行／練習日を設定**する事になり、例会後開催された理事会において、9/3、9/17、10/1の中で原卓会員の都合の良い日に決定する事になり、瀬戸委員が問い合わせることが決まりました。

以 上

